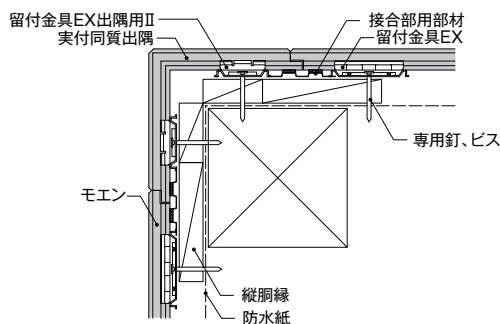
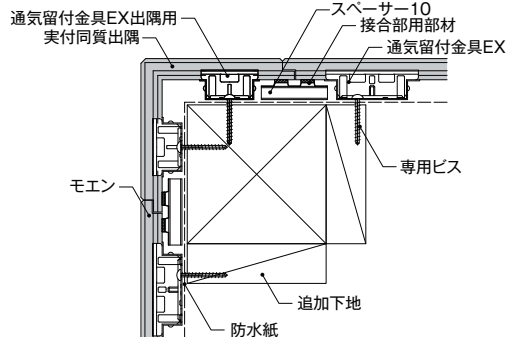


3 出隅部 ドライジョイント工法【実接合】

1)－1 納まり図(胴縁金具工法)



1)－2 納まり図(通気金具工法)



【注意事項】

・通気金具で納める場合、下地を追加する必要があります。

2) 施工手順

手順

1



手順

2



手順

3



接合部用部材の施工

▶接合部用部材を、実付同質出隅の実端部が中心になるように配置する。

(図1参照)

▶水が抜けるように最下部の止水材は除去する。(20mm程度)

▶モエン用釘(ステンレスリング釘φ2.3×38mm)または専用ビス(φ4.1×35mm)で止水材の外側に1m以下の間隔で打ち付けて留め付ける。

▶接合部用部材の継ぎ手部分には、裏面に防水テープを貼り付ける。

※通気金具施工の場合は接合部用部材の下にスペーサー10を取り付ける。

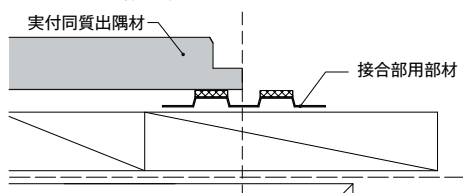


図1 実付同質出隅材の実端部

実付同質出隅の施工

▶留付金具EX出隅用(JE552C、JE825C)を使用し、実付同質出隅を取り付ける。

モエン端部の加工

▶躯体の倒れなどを考慮しながらモエンを切断する。(左右接合部表面に隙間ができないよう、出隅端部に合わせて切断)

▶小型ミゾギリに、実加工用刃物(FX120S)をセットし、刃出し量7.5mmに調節し、モエン裏面出隅側端部に小型ミゾギリで合いじゃくり加工を施す。(図2参照)

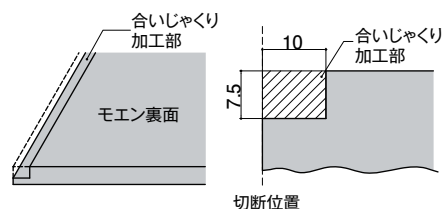
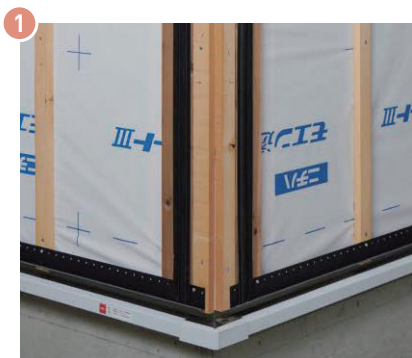


図2 モエン端部の加工



▲接合部用部材をモエン用釘または専用ビスで留め付ける



▲留付金具EX出隅用で実付同質出隅を取り付ける



▲小型ミゾギリで、モエン端部に合いじゃくり加工を施す